

主催 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院  
京都大学野生動物研究センター  
共催 琉球大学研究推進機構  
後援 環境省那覇自然環境事務所、沖縄県  
助成 ニッセイ財団 環境問題研究助成

# 島々の森と海の暮らし ～人と自然がつむぐ生物文化多様性～

琉球の島々では、島や集落それぞれの森や海からの恵みを活かし、日々の暮らしが営まれてきました。自然資源を大事にし、工夫して利用してきた暮らしは、驚くほど多様な文化を育んできました。しかし、自然利用の知恵や暮らしの記憶は、いま、失われつつあります。

地域固有の知恵や暮らしの記憶には、どのような価値があり、島の暮らしを豊かにするヒントがあるのでしょうか。参加者の皆さんと改めて見つめ、継承に向けて、それぞれの立場からどのようなことができるのかを考えます。

日時： **2017年9月29日(金)**  
**15:00-18:30**

場所： **琉球大学**  
**法文学部新棟114号室**

参加： **参加無料・申込み不要**

一般の方、自治体、博物展示施設関係者、研究者・学生など  
地域づくり、ツーリズム、自然や文化に関心ある方

## [講演]

- ◆ 湯本 貴和 (京都大学霊長類研究所)  
沖縄にみる生物文化多様性
- ◆ 盛口 満 (沖縄大学人文学部)  
植物利用からみた、琉球列島の島々の里の自然
- ◆ 当山 昌直 (沖縄大学地域研究所)  
島の自然と生物文化

## [研究成果]

滝澤 玲子 (京都大学野生動物研究センター)  
やんばるの地域住民による森林利用と生物多様性

## [活動紹介]

- ◆ 三輪 大介 (NPOいけま福祉支援センター)  
池間島のよみがえりの種
- ◆ 富田 宏 (漫湖水鳥・湿地センター)  
“水鳥と湿地と人をつなぐ場所”に集う人・記憶・記録
- ◆ 高橋 そよ (琉球大学研究推進機構研究企画室)  
文化・暮らし・人を紡ぐ超学際的研究の可能性

